

氏名	伊加 (望月) 千夏子
学位の種類	博士 (看護学)
学位記番号	乙第 11 号
学位授与の日付	令和 5 年 6 月 30 日
学位授与の要件	学位規則第 3 条第 2 項該当
学位論文題目	妊娠初期の夫婦関係と妊娠初期ならびに妊娠中期の妊婦の胎児への愛着との関連
紹介教員	石舘 美弥子 教授 (医療技術学研究科看護学専攻)
論文審査委員	主査 教授 山崎 恭子 (医療技術学研究科看護学専攻) 副査 教授 新井 直子 (医療技術学研究科看護学専攻) 副査 教授 片桐 麻州美 (助産学専攻科専攻)

論文審査結果の要旨

本論文は、初産婦の妊娠初期における夫婦関係が妊娠初期および中期に抱く胎児への愛着との関連について明らかにすることである。対象は、首都圏 4 つの医療機関で妊婦健康診査に通う妊婦とし、対象者の背景、妊娠初期の夫婦満足度尺度 (以下 QMI)、妊娠初期、中期における母親の胎児への愛着尺度 (以下 PAI)、妊娠中期の胎動の自覚などの項目について、WEB アンケートを行い、QMI と PAI の関連および影響要因を重回帰分析より検討した。分析対象者は、研究同意者 170 名のうち記載漏れなどを除外し 138 名とした。妊娠初期の PAI の得点は、妊娠初期ならびに中期の QMI の得点と有意に正の相関を示し、夫婦関係は妊婦の胎児への愛着を高める可能性を示す結果となった。先行研究では、妊娠末期の若年妊婦における PAI とパートナーとの関連について報告はあるが、妊娠初期および中期における報告はなく、本研究で出産後の養育にも影響を与えている胎児への愛着に影響する要因を明らかにしたことは、医療者が妊婦および夫へ看護支援において着目すべき点として評価できる。一方、対象者数が 138 名とサンプルサイズが小さい点、対象者の背景要因との関連性が不十分な点についてさらに検討する必要がある。また、この研究結果を具体的な看護ケアとしてどのように展開していくかも課題であるが、学位取得後に具現化できる基礎的能力は兼ね備えていると判断した。

以上のことより、本研究は看護学の博士の学位論文として認めることができると判断できる。